

下田まち遺産を未来に

下田まち遺産手帖 vol.5

下田まち遺産を皆さんと共に未来へ

「下田まち遺産」とは下田の人たちが昔から大切にしてきたもの、これから新たに大切にしていきたいものです。美しい砂浜や歴史的な景観、伝統や人の営みによって育まれる地域文化などは、まさに「下田まち遺産」です。これは時代が変わっても人の心に残り続ける下田の誇りとなります。これらを未来に活かすためにも、私たちの力を合わせて守っていく必要があります。どうか、皆様のご理解、ご協力をお願いします。

写真：田中・熊宮直の撮影

景観まちづくり市民会議委員がオススメ

私のとおき「下田まち遺産」

下田公園 しもだこうえん

<紹介者>

下田市景観まちづくり市民会議委員 かばたくにい 加畑 國衛 さん



下田公園内にある空堀の跡。

創刊号で紹介された「みなと橋からの眺望」をご覧ください。ただらうか。

河岸に整然と停泊している大小の船舶。これこそまぎれもなく港町下田を体感できるスポットであるが・・・自然と目に飛びこんでくるのが、こんもりとした小高い丘の下田公園(海拔68.7m)である。

豊臣秀吉の天下統一の小田原侵襲が始まる戦国時代から、下田公園の空堀物語は始まる。小田原北条氏は、秀吉方の侵襲に備えるべく天正16年(1588)、鶴嶋(現下田公園)に海の守りとして、下田城の構築にとりかかる。北条方の水軍拠点とするためであり、この下田城は海賊城ともいわれている。北条方は、下田城の責任者として加納城主清水上野介康英をあたらせ、城将に任命している。

伝「天守台」から二方に伸びる尾根(馬場ヶ崎方面とお茶ヶ崎方面)と現在の坂下町の裏山にあたる地区のそれぞれの要所から空堀が廻らされているが、長く延びたこの空堀を掘り進めるのに二年を費やしたとされる。

二年で完成したとしても、どの様な人たちが携わったのか。地元町人はもとより、近隣の村々に動員をかけ、区間を割り当てたことは、想像にかたくないところであるが、相当きつい人足の提供であったに違いない。

天正18年(1590)徳川家康の関東移封により、徳川氏領地になった後、慶長8年(1603)には徳川幕府直轄地となった。



空堀の様子わかる模型(道の駅開国下田みなと4階にあるパーミュージアム内)

その後、第二代下田奉行となった今村伝四郎正長は、鶴嶋に植林し、伐採を禁じたという。・・・そのおかげで現在、植物が繁茂し城址の空堀も破壊されないでその面影を留めている。また、武方浜に浪除堤を普請して町を高潮から守ったことは、下田小学校校歌で愛の正長として歌われているところである。

明治34年(1901)に公園となるが、国有林であったので、明治42年(1909)に払下げ申請が町議会で議決し、鶴嶋をはじめ湾内のミサゴ島、犬走島、狼煙崎、剣ヶ浦、赤根島を取得したのが明治45年(1912)とされている。取得価格は町予算の1.75倍という超多額の資金を工面し買収したのだから、当時の関係者各位には感謝に堪えない思いである。

こんにち、公園内に足を踏み入れるとなだらかな丘陵地であり、空堀を觀賞し、森林浴を兼ねた散策には最適であり、気候によっては心地良い汗を流すことになるのでお勧めしたい。里山では見られない意外な植物が自生し、四季により出会える山野草達が目を楽しませてくれる。

公園内の魅力は何と言っても伝「天守台」を中心に廻る長大な空堀である。堀は欅堀、障子堀で構成されているが、散策しながら観察することが出来る。中には河口めがけて垂直に近い縦堀もあり、その様子は圧巻であるので是非見てもらいたい。

伝「天守台」の上から南側真下をのぞくと障子堀が心地良いほど原型を留めている様が一望できる。

何故かこの地域に踏み込むと、つい口ずさむ

「夏草や兵どもが夢の跡」

下田公園は私の魅力的な「空堀散策コース」である。

昔は戦も行われたという歴史も含め、自然あり文化ありで先人たちの声が聞こえる気がするのが下田公園である。「下田まち遺産手帖」を参考に散策してもらえれば幸甚に存じます。

下田まち遺産ニュース その1

今年度は新たに 下田まち遺産 13件認定。



下田まち遺産ギャラリー開催の様子。

平成25年8月2日～23日の間に開催された「下田まち遺産ギャラリー」でのアンケート結果を受け、13件の下田まち遺産を認定しました。新しい下田まち遺産は、今後、下田市役所ホームページ等でお知らせしていく予定です。また、新たな下田まち遺産の募集も随時行っていますので、お気軽にご応募ください。提案用紙(応募用紙)は下田市役所建設課や市民課前のロビーにご用意しています。また、下田市役所ホームページ内からもダウンロードできます。



新たに認定された下田まち遺産画像。

- ①百地蔵②平野屋③宝篋印塔④白濱神社三番叟⑤[眺望点]下田公園開国ひろば⑥下田富士溶岩節理

下田まち遺産ニュース その2

下田市景観まちづくり条例 についての講座が開かれました。

平成25年11月9日に河内公会堂で、下田市景観まちづくり条例に関係した公開講座が開催されました。主催は河内歴史の会で、講師は水口順策さん(建築設計士・下田市景観まちづくり市民会議副会長)。会員以外には河内区民の方が参加されました。また、河内区周辺の下田まち遺産の写真などを展示し、河内区の皆さんに見ていただき、景観施策に対して理解を深めていただきました。

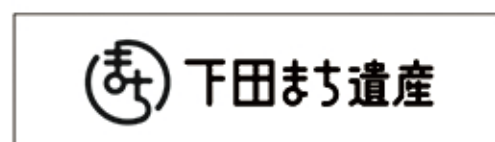


↑会場ではパネルで下田まち遺産の紹介。
←河内公会堂で行われた公開講座の様子。

下田まち遺産ニュース その3

下田まち遺産手帖 が下田市ホームページでご覧いただけます。

下田市ホームページ内にある「下田まち遺産」のロゴをクリックし、下へスクロールすると下田まち遺産手帖の内部リンクがあり、更にクリックしていただくと、下田まち遺産手帖のバックナンバーをご覧いただけます。



下田市公式ホームページ
<http://www.city.shimoda.shizuoka.jp/>

